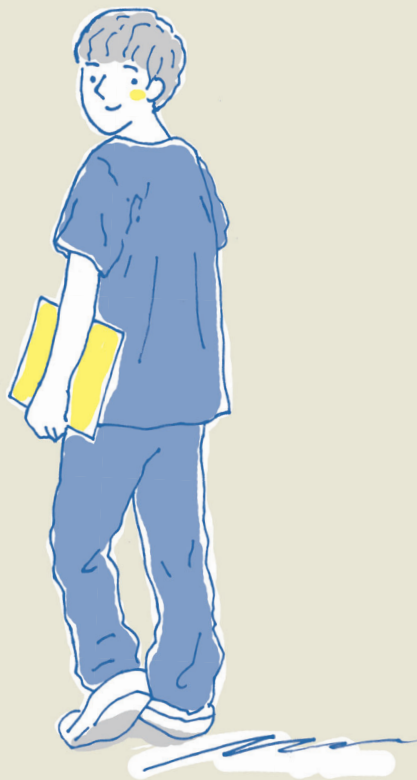




碧南市民病院

Hekinan Municipal Hospital

がっつりより
じっくりタイプの
あなたへ。



医師として、社会人として、 じっくり 土台を固める2年間。

初期臨床研修の2年間でどれだけ経験できたかが、

後期へと進む節目で、大きな差となって表れます。

私たちがめざすのは、じっくり着実に実力をつけられる研修。

カリキュラムどおりの知識の詰め込みではなく、

患者さんと初診から退院まで向き合う経験を積み重ね、

医師として、社会人として、土台を固めませんか。

医療への志と思いやり、
そして考える姿勢を持ち臨んでほしい。

あなたはどんな医師をめざしていますか？ 当院で身につけられるのは、地域の中核病院として、どんな患者さんが来ても受けるべき治療へと確実に導く「ファーストエイドの力」です。2年後には「たいていの症状に対応できる」と言い切れるよう、私たちはあなたに、経験によって学ぶ機会を提供します。言われた通りこなすのではなく、自分で率先して動き、振り返りを行ってこそ、前へと進めるもの。だからあなた自身も、人の意見やWebの情報を集めるだけでなく、自分で考えて正解を導いてほしい。そして患者さんや一緒に働く人を思いやって信頼を手に入れ、困難に直面したときには医師になろうと決めたときの志に立ち返りながら、なりたい医師像へと近づく学びを得てほしい。それが私からの期待です。



臨床研修管理委員長・神経内科部長 土井 英樹

数字でみる碧南市民病院

(令和4年度実績)

救急外来
患者数(年間)



8,069人

外来患者数(1日平均)

544.7人



医師数

42名

救急車搬送数(年間)



3,276件

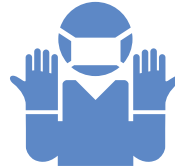


病床数

255床

(地域包括ケア病棟45床含む)

年間
手術数



2,041件



平均在院日数

12.7日

研修医
夏季休暇取得率



100%



研修医数

10名

指導医数

21名

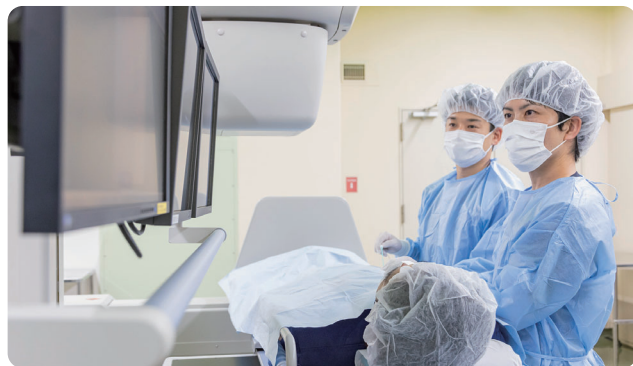
全スタッフの協力の下、
救急患者さんの、その先まで関わる経験を。

研修医の先生が研鑽を積む場の一つとして、救急外来が占める割合はやはり大きいと思います。おおよそ週1回担当する救急外来は、上級医にサポートしてもらいながら、研修医が1人で担当します。患者さんの入院後も、ローテート中の診療科にかかわらず、時間に無理のない範囲で主治医と一緒に経過観察や検査内容の検討を行います。退院まで治療に携わって自分の目で見て経過をたどり、次の似た場面で活かせる学びを得られるよう、関わる全員が協力します。あなた自身も、少しでも多く吸収し成長しようという気持ちで来てください。そして地域の患者さんとの関わりを通じ、医師としてのやりがいや喜び、責任感を味わう経験をしてください。



上級医・循環器内科 医長 牧野 太郎

見守られる 安心感が、 自ら学ぶ意欲を かき立てる。

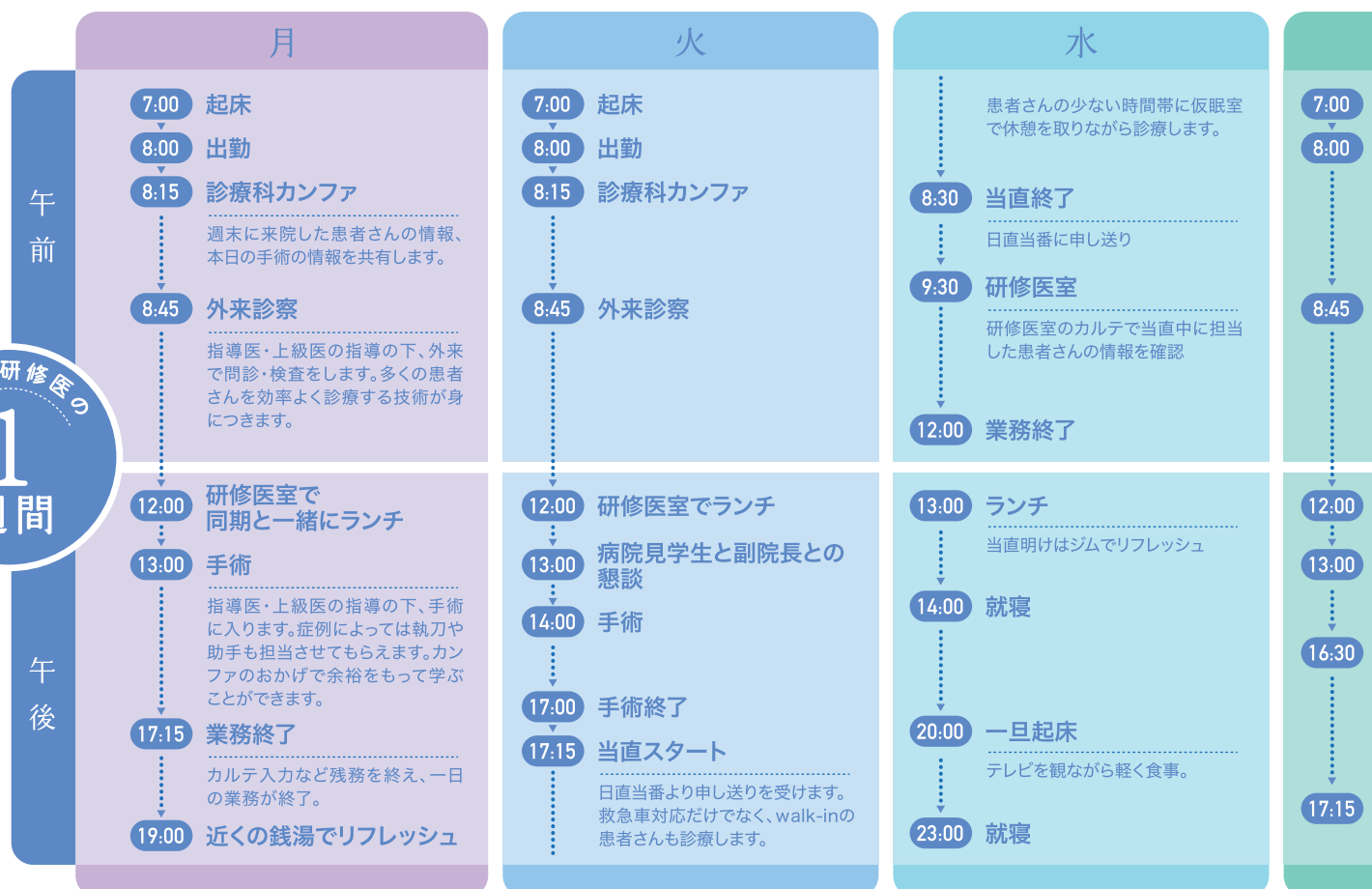


研修医それぞれの目指す道を、
上級医が把握。

病院見学で、研修医1年目の先輩が手技を任される様子を目の当たりにして、手技を早い段階で習得したいと考えていた私には最適な病院だと思いました。入社して半年のうちに、消化器内科の胃カメラや整形外科の腰椎麻酔など、数々の手技を上級医の指導のもと経験しています。研修医が1・2年目各5人の当院では、一人ひとりの志向を上級医が把握し、必要な経験ができそうな場面があれば声をかけてくださいます。私も「当院では珍しい神経内科領域の症例だから、経験しておいた方がいいよ」と言っただき、他科のローテーション中にも関わらず、患者さんの退院まで担当させてもらいました。中規模の病院だからこそこのこうした距離の近さは他職種も同じで、ほとんどの人の顔と名前を知り、すれ違うとあいさつを交わす関係性です。



1年目研修医の
1週間



※上記スケジュールはパンフレット用にまとめたもので、実際と異なる場合があります。日直と当直が同じ週に重なることは滅多にありません。

数多くの経験を積みながら、プライベートも充実。

毎週1回担当する救急外来では、平日昼間は院内にいる上級医にコンサルトをお願いできる安心感の下、多様な疾患への対処を経験できます。自分が救急から診療科へつないだ患者さんのカルテを後日確認して、自分の診断と上級医の診断を比較し、どんな治療がされているかを学習して次に活かす主体的な学び方もできています。「総合内科」のローテーションでは、5人の患者さんを主治医のような形で受け持ち、初診から検査・薬のオーダー、入院決定、治療までを実施。原因不明の発熱に対して、上級医と一緒に仮説を立て可能性を絞っていく経験もしています。仕事の後は同期と一緒にジムで体を動かし、休日には旅行に行くなど、プライベートを楽しむ余裕もあるバランスの取れた環境のなか、興味とやりがいを持って臨んでいます。



1年目 研修医

小西 宏侑

2023年入職

奈良県立医科大学卒

奈良県奈良市出身。調剤チェーンの薬剤師として働くなかで、自らの進言が患者さんの胃がん発見につながる経験をして、直接治療に携われる医師を志す。医学部卒業時には30代半ばを超えていたこともあり、早くから手技を習得できて、待遇面も充実した研修先を希望。東海・関西を中心に約10の病院を見学し、碧南市民病院を選んだ。



木

起床

研修医勉強会

上級医による勉強会。救急外来に関することや各科の知識など内容はさまざま。

外来診察

研修医室でランチ

手術

カンファ

翌週の手術に関することや、画像についての検討会など、さまざまな内容のカンファレンスを行います。

業務終了

金

7:00 起床

8:00 出勤

8:15 診療科カンファ

8:45 外来診察

12:00 研修医室でランチ

13:00 手術

17:15 業務終了

土

休日

担当患者さんの様子が気になる時は、病院に行って様子を見ることもあります。

日

7:00 起床

8:00 出勤

8:30 日直スタート

土曜日の当直から申し送りを受けて勤務スタート。救急外来では研修医がファーストタッチを行います。必要に応じて3年目以上の先生方にコンサルしながら診療します。

12:00 ランチ

忙しい合間をみて昼食をとりまします。

17:15 日直終了

当直担当の研修医に申し送りを行い業務終了。あっという間の一日が終わります。

ストレスのない環境のなかで、 医師としての 将来を見据えて。

谷口 安里

2022年入職
山形大学卒

山形県山形市出身。医師を目指したきっかけは、中学生時代、東日本大震災で被災した人の姿に「何か役に立ちたい」と感じたことと、自分自身の身体についてもっと理解したいと思ったこと。研修内容と、故郷の山形に似た、のんびりしたまちの雰囲気が入り、碧南市民病院へ。学生時代からの交際相手も同じ愛知県で就職し、2023年に結婚。

2年目
研修医



上級医や他職種との関係性が 学びを後押し。

当院を研修先に選んだ決め手は、ガツガツ前に出るタイプではなく、マンツーマンで指導を受けて経験を積める規模。それから毎週1回の救急外来担当があり、インフルエンザや熱中症などの季節性疾患を含めてまんべんなく学べる、他にはまずない体制。そして病院内の雰囲気のよさでした。実際、医局内には診療科の垣根がなく、また上級医は経験が豊富で心の余裕が感じられ、私が患者さんへの対応について振り返りをお願いしたいときは、いつでも快く応じてくださいます。他職種も、何気なく顔を合わせたタイミングでリハビリスタッフが患者さんの情報を教えてくれたり、薬剤師が抗菌薬についてアドバイスをくれたり。研修医にとってストレスが少ないだけでなく、患者さんの利益につながると思える環境です。

ここなら外科専門医を 目指せると決心がついた。

私は手術に関心があり、手術で患者さんを治療して自宅に帰らせてあげられる外科に魅力を感じています。当院には女性の外科医がいて、育児をしながら、消化器から乳腺まで幅広い領域に対応し、夜間の緊急オペもこなす姿は、まさに私の目標です。私自身も今後は出産や子育てを考えていますが、外科との両立には不安もありました。けれど当院は、男性の上級医にも女性ならではのライフイベントを相談でき、職務上の配慮もしていただける、とてもありがたい環境。ここで外科医としてのキャリアをスタートさせたいと決心ができました。初期臨床研修修了後も当院で後期研修に臨み、外科専門医を目指す予定です。若いうちから多くを経験できるこの病院で、多様な症例に対応でき、困ったときに頼られる外科医を目指します。



研修サポートとワークライフバランス

研修環境

研修医室



研修医室には各自デスクがあり、集中して勉強できる環境があります。ランチを同期と一緒にとったり、経験した症例を共有したり、研修期間中を有意義に過ごす場所になります。

電子カルテ



研修医室には電子カルテがあり、自由に使用することができます。救外で担当した患者さんの入院中の経過を観察し、上級医がどんな診療を行っているかを知ることによって知識を積み重ねていくことができます。

豊富な勉強会



毎週木曜日朝の定例勉強会に加え、心エコー、輸液、CVC(中心静脈カテーテル挿入)などの知識・技術を学ぶセミナーを実施しています。また、獨協医科大学の志水太郎先生による勉強会や、東京で開催される著名講師によるセミナーなど、院内外で学ぶ機会を豊富に設けています。

学会サポート

最新の知見を得るため、国内に限らず海外の学会への参加を推奨しています。発表する場合は全額、参加の場合は一部、旅費や参加費などを補助する制度も整えています。

院内施設

図書室



医学専門誌や雑誌などを病院で購入し、自由に閲覧することができます。必要な書籍があれば、申請の上病院が購入することも可能です。また、文献検索サイトに病院が加入しているため、研修医はいつでも閲覧することができます。

売店



院内に売店があります。店内ベーカリーで作る焼きたてパンが好評です。イトインスペースも隣接しており、ランチや小腹が空いた時に利用できます。

福利厚生

職員住宅(寮)



病院から車で5分程度の場所に病院が契約している職員住宅があります。1DKまたは1LDKの部屋をわずかな負担で利用することができます。近隣にはファミリーレストランやファストフード、カフェなどが揃っています。



院内保育所



病院敷地内に職員専用の保育所「すくすく保育所」があります。生後57日から就学前までの乳幼児を受け入れています。働くパパ・ママドクターたちの強い味方です。(医師以外の職種のお子さんも預かっています。)



研修医の出身大学

藤田医科大学/愛知医科大学/愛知大学/名古屋大学/三重大学/大阪大学/広島大学/岡山大学/福井大学/高知大学/愛媛大学/杏林大学/川崎医科大学/埼玉医科大学/大阪医科大学/山形大学/東北医科薬科大学/金沢医科大学/金沢大学/久留米大学/大分大学/鳥取大学/浜松医科大学/奈良県立医科大学/関西医科大学/琉球大学

※過去10年間

初期研修後の進路

初期研修医が
後期に当院を選択した割合
(平成16年以降)

47.5%

〒447-8502 愛知県碧南市平和町3丁目6番地

TEL 0566-48-5050(代表) FAX 0566-48-5065

E-mail bkanrika@city.hekinan.lg.jp

URL <http://hospital.city.hekinan.aichi.jp>



病 床 数 255床(地域包括ケア病棟45床含む)

- | | | | |
|-------------|---------|-----------|--------------|
| ■ 内科 | ■ 小児科 | ■ 皮膚科 | ■ リハビリテーション科 |
| ■ 循環器内科 | ■ 外科 | ■ 泌尿器科 | ■ 放射線科 |
| ■ メンタルクリニック | ■ 整形外科 | ■ 産婦人科 | ■ 麻酔科 |
| ■ 神経内科 | ■ 脳神経外科 | ■ 眼科 | ■ 病理診断科 |
| ■ アレルギー科 | ■ 呼吸器外科 | ■ 耳鼻いんこう科 | ■ 歯科口腔外科 |

病院見学のご案内

碧南市民病院では、見学者一人ひとりの希望に沿った病院見学を行っています。例えば、将来の診療科をまだ決めていないため、外科と内科、救急外来をまんべんなく見学したい方。一日をフルに使って希望の診療科を見学したい方。当直帯も含めて見学したい方など、見学者の希望に沿えるよう、最大限の努力をいたしますので、ぜひ当院の魅力を体験しに来てください。見学の際は研修医がフルアattendしますので、当院での研修の雰囲気などを尋ねてみてください。

申し込み時のお願い

院内調整が必要になりますので、見学のお申し込みは見学希望日の1週間前までにお願いいたします。お申し込みはメール、もしくは当院ホームページ内「研修医募集」ページの「病院見学のご案内」にある「申し込みフォーム」からお申し込みください。お電話でのお申し込みも受け付けています。

病院見学交通費補助あり

※補助額例：東京の大学に通う方15,000円、大阪の大学に通う方9,000円、福岡の大学に通う方30,000円

当直室無料宿泊可能

